

第2章 子どもが大切にされるまち 第1節 子ども支援

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	ほぼ目標値に近い数値になっているため。今後も利用者アンケートを活用し、利用者の意見等を参考にして、充実を図る。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	34,598千円	34,248千円	①延べひろば利用者数	利用者満足度	利用者が安心して遊ぶことのできる場の提供が当該事業の目的であるため、利用者満足度を指標とする。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②利用者満足度											
	子ども支援センター運営事業(子育て支援)	事業の目的及び具体的な内容	35,917千円	35,124千円	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	少子化や核家族化の進行による地域のつながりの希薄化から、相談相手がおらず育児への不安を抱えている親を支援するため、4歳未満の乳幼児を対象とした子どもを安心して遊ばせることのできる場を提供し、子どもと保護者が交流する場の運営を行うことで、保護者同士で育児についての相談や交流ができる環境づくりを行うものである。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①35,813人	100.0%	98.3%	複数回利用している方の評価は良好だが、はじめて利用する方の評価において、「どちらでもない」と回答している傾向があるため。								
	期間	H28～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②99.43%	100.0%		99.4%							
7,270千円	0.89人	0.20人	100.0%												
こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	適正な支給を行った。職員の事務負担については、事務改善を検討し、さらなる時間外の削減を目指す。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	重要	□ 自治事務 ■ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	201,535千円	4,758,465千円	①2月末現在受給者数	受給者1名当たりの事務経費(正規職員人件費を含む事務経費÷受給者数)	児童手当法を遵守し、正確かつ適正な事務を行う。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②年間手当支給総額											
	児童手当支給事業	事業の目的及び具体的な内容	4,907,050千円	5,068,716千円	③正規職員人件費を含む事務経費	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識のもとに、0歳から中学3年生の児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①23,315人	1,800円	1,570円	目標達成済								
	期間	H24～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②4,656,500千円	1,800円		1,510円							
24,749千円	3.03人	2.00人	③35,213千円	1,800円											
こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	概ね目標を達成しているが、書類不備により登録が保留となっている方へは、引き続き通知等を行うことが必要である。市民課や生活福祉課などの関係各課と連携を取り、新規対象者については案内漏れが無いように注意する。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,138,688千円	1,089,723千円	①受給者証交付件数	登録率(登録者数÷助成対象者数)	すべての助成対象者が、等しく医療費助成を受ける事を目標とするため、登録率を指標とする。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②医療費助成件数											
	子ども医療費助成事業	事業の目的及び具体的な内容	935,183千円	860,358千円	③	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	医療費の助成を行うことにより、子ども(0歳から中学3年生まで)の保健の向上と福祉の増進、子育て家庭の経済的負担を軽減するとともに、子育てを支援することを目的とする。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①4,006件	100.0%	99.4%	新規登録申請はしているが、書類不備により、登録が保留となっている助成対象者がいるため。								
	期間	S47～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②426,367件	100.0%		99.0%							
12,987千円	1.59人	3.00人	③	100.0%											
こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルスの流行による外出自粛により、大幅に受診件数が減少したため、目標を達成できたと思われる。	R2年度に改善した点	1. 貧困をなくそう			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	152,378千円	142,561千円	①交付件数(対象者数)	一人当たりの支給額(助成金額÷対象者数)	増え続ける医療費の削減を図ることを目標とするため、一人当たりの支給額を指標とする。								
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②医療費助成件数											
	ひとり親家庭等の医療費助成事業	事業の目的及び具体的な内容	149,829千円	128,631千円	③医療費助成金額	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	母子家庭、父子家庭、両親のいずれかが障害者の家庭等における養育者とその児童(0歳から高校3年生まで)の医療費助成を行うことにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①4,312人	25,000円	30,482円	目標達成済								
	期間	H4～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②48,118件	30,000円		28,313円							
14,621千円	1.79人	1.00人	③122,087,520円	30,000円											

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	対象者へチケットを配布することが出来た。また、年度途中からは、可能な範囲で絵本の交換時に読み聞かせができた。今後は対象者を1歳6か月児健康診査へ変更し、感染予防に努めながら絵本の読み聞かせとチケットの配布を行い、親子のふれあいの大切さを伝えていく。	R2年度に改善した点		3. すべての人に健康と福祉を		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①絵本引き換えチケット配布数	絵本引き換えチケット配布割合	目標設定の考え方・根拠								
	ところっこ親子ふれあい絵本事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②絵本交換数		R1目標	R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析				
		ところっこ親子ふれあい絵本事業実施要綱	2,176千円	2,176千円	③読み聞かせ動画作成数		-	-							
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績								
	期間	R2~	内容: 4か月児健康診査時に、絵本の読み聞かせと「絵本引き換えチケット」を配布し、保護者は健診日以降、図書館又は子育て支援施設等で絵本2種類の中から1冊を選択し、引き換えを行う。	0.00人	0.00人	①2,470枚(4か月児健診該当者数)	100.0%	100.0%			目標達成済	読み聞かせボランティアの参加については、新型コロナウイルス感染症の流行に左右されてしまう。まん延防止措置期間中等は職員が対応するなど、関係課で都度協議し、状況に応じた対応を行う。			4か月児健康診査対象者すべてにチケットを送付し、事業の周知を行った。
			0千円	0.00人	②823冊										
			0.89人	0.00人	③1本										
			7,270千円												
こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用人数は減少したが、今後も感染症防止策を徹底しつつ、引き続き市内3施設において病児保育を実施し、充実を図る。	R2年度に改善した点		3. すべての人に健康と福祉を		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	30,216千円	25,083千円	①病児保育利用者	病児・病後児保育利用定員数	目標設定の考え方・根拠								
	病児・病後児保育事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②病後児保育利用者		R1目標	R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析				
		所沢市病児・病後児保育事業実施要綱	30,373千円	26,049千円	③		12人	12人							
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績								
	期間	H9~	病気又は病気の回復期にあって、集団保育が困難な時期の乳幼児を一時的に預かる事業。これによって、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的とする。市内に住所を有する、小学校3年生までの児童が対象。保護者負担金は児童1人当たり月額2,000円(飲食代別)。	0.68人	0.00人	①105人	12人	12人			目標達成済	利用者の人数の減少が課題となる。新型コロナウイルス感染症防止策を徹底しつつ、リーフレットやポスターの掲載などに加えて広報での周知など、市民の方により広く情報を周知できるように努める。			病児・病後児期にある子の預かりを実施し、安心して子育てできる環境をつくった。
			5,652千円	0.00人	②20人										
			0.38人	0.00人	③										
			3,104千円												
こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	全国的な保育士不足の影響で一時的預かり保育実施園において、担当者会議を設け、事務や対応について検討を行った。	R2年度に改善した点		3. すべての人に健康と福祉を		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	141,547千円	125,927千円	①年間延べ利用児童数	一時預かり保育実施園	目標設定の考え方・根拠								
	一般型一時預かり事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②		R1目標	R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析				
		所沢市一般型一時預かり事業実施要綱	142,351千円	138,573千円	③		30園	29園							
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績								
	期間	H27~	保育所等を利用していない家庭において、就労・日常生活の突発的な事情等により、一時的に家庭での保育が困難となる場合や、育児に伴う心理的・肉体的な負担を軽減するために、保育所等において児童を一時的に預かる事業で、安心して子育てができる環境を整備することを目的とする。	0.53人	0.00人	①17,467人	30園	27園			全国的な保育士不足の影響で保育従事者の確保が困難となり、一時休止となった園があったため。	全国的な保育士不足による保育従事者の確保が課題となっている。専門研修を修了した子育て支援員の配置など、柔軟な職員配置により供給量を確保できるように、実施施設に打診していく。			一時預かりを実施し、安心して子育てできる環境をつくった。
			4,405千円	0.00人	②										
			0.64人	0.00人	③										
			5,228千円												
こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	保育施設や児童館、保健センター等リーフレットを配布、事業周知をして行く。	R2年度に改善した点		3. すべての人に健康と福祉を		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,912千円	1,644千円	①相談件数	相談件数	目標設定の考え方・根拠								
	ところっこ子育てサポート事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②運動あそび参加人数		R1目標	R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析				
		ところっこ子育てサポート事業実施要綱	2,409千円	1,947千円	③		900件	1,064件							
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績								
	期間	H27~	子育て家庭のニーズより、教育・保育施設や地域の子育て支援事業の情報提供及び子育てについての相談・助言など、利用者の必要に応じた支援を行った。子ども支援情報を総括した冊子の配布、広報、ホームページ等により告知を行い参加者を募り、教授および研究室の学生等が講師を務め運動遊びの紹介を行う。子どもたちの成長における正しい生活リズムを身に付けることの大切さを知ってもらう。	2.16人	0.00人	①1,033件	900件	1,033件			目標達成済み	常に新しい情報収集に努め、利用者に正確な情報を提供する。利用者が相談しやすいよう「子育てコンシェルジュと話そう!」とひろばに出向くなど相談しやすい場をつくる。			地域において安心して子育てできる環境をつくった。
			17,954千円	2.00人	②197人										
			1,24人	1.90人	③										
			10,128千円												

